



《子どもたちの心に残る行事が次々と！》 part II

《環境教育+キャリア教育》

5/31、海上保安協力校として西海小、舞戸小の6年生が合同で、環境教育の一環として海岸清掃活動を行いました。場所は海水浴場及び海浜公園のエリアです。子どもたちは、「未来に残そう青い海」を合言葉に砂浜を中心に漂流物や落ちているごみを集めて、分別をしながらチェックリストに種類や個数を記入していました。毎年のことながら、相変わらずハングル文字のプラスチック容器や漁船の用具などが目立ち、またスーパーのトレイやペットボトル、空き缶などの生活ごみ、タイヤなどの粗大ごみなど、あっという間にゴミ袋が一杯になり、その多さにびっくりしていたようです。こういう地道な活動は地域の環境保全につながることはもちろん、「きれいな海を未来に残していこう」という心情を育み、環境問題へ関心を広げてくことになります。今後もこの活動を広めていながら、地域も巻き込んで、町民みんなで「きれいな海あじがさわ」を目指したいものですね。将来この中から海上保安官になる人が出てくるかもしれませんね！



《田植え体験》舞戸小5年生 5/28(金)

昨年はコロナ禍で田植え見学でしたが、今年度は地元住民の神 孝信さんの計らいにより、子どもたち全員が実際の田植え体験をしました。素足で田んぼの中に入るのは初めてという子どもたちでしたが、怖々入ってしまうと、泥の感触に歓声をあげていました。田植えの要領がわかるに従い、泥が跳ね返るのも気にせず、黙々とイネ苗を植えていましたが、終わった後の子どもたちの顔は一人一人満足感であふれていました。秋の収穫(稲刈り)には撓に実った稲と対面ですね。(社教推進 DC 木村)

